

# 令和7年度 第7回益富地域会議 会議録

日 時：令和7年11月19日（水曜日）19時00分～20時30分

場 所：益富交流館 1階 多目的ホール

出席者：<地域会議委員> 加藤 弘一、岸和田 紀美代、木戸 彰彦、黒田 隆、  
今野 貞直、櫻井 裕子、柴田 栄作、鈴木 勲、鶴田 政勝、寺崎 謙二、  
橋本 卓美、間瀬 亮次、森本 泰崇、山内 日出美

欠席者：梅木 貴仁、田中 強、古川 和彦

<高橋支所>前田支所長、出口副支所長、吉野担当長

## «内容»

### 1 豊田市民の誓い唱和

### 2 会長あいさつ

会長から委員全員に以下の内容について情報提供した。

#### ①高橋地域自治区代表者会議（令和7年9月18日開催）での情報交換

高橋地域会議では「高齢者支援及び自治区の担い手不足」に関する提言を実施したこと、又、美里地域会議では高齢者に関する課題が取り上げられ、現在「高齢者の困りごと」に関するアンケートを実施していることを情報提供した。

#### ②第1回益富地域会議委員選考委員会（令和7年10月14日開催）での協議結果

次期委員の人数は13人程度を目標に進めていくこととなったことを情報提供した。

### 3 地域課題解決事業

事務局から事業計画案について説明した後、同案について全員で協議した。主な意見は、以下のとおり。

事業	主な意見
サロンマップ作成	<ul style="list-style-type: none"><li>・サロンに加えてカフェをはじめとした高齢者（地域住民）が集える場所を網羅したマップにできるとよい。</li><li>・自治区民のみ参加できるサロンなのか、どの自治区民でも参加できるサロンなのかを掲載すると利用者にとっても分かりやすい。</li><li>・マップは折り畳み形式ではなく冊子形式の方が使いやすい。</li></ul>
共助交通の仕組み導入	<ul style="list-style-type: none"><li>・勉強会の開催に加えて、共助交通自体のニーズがどの程度あるのかを把握することも大事なのでアンケートも実施してよいと思う。</li><li>・共助交通を導入するエリアが広過ぎるとドライバーの負担が大きくなる等の問題が出てくるため、導入エリアはよく精査する必要がある。</li></ul>
多世代文通	<ul style="list-style-type: none"><li>・返事が来ない人へのフォローワーク体制も検討していく必要がある。 (例えば、民生委員にも依頼してフォローしていただく等)</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体的に失敗する状況やその際のフォローワーク体制も考慮して進めた方がよい。</li></ul>

事業名については「高齢者が「幸齢者」として生き生きと暮らせる地域づくり」にすることで委員全員から合意を得た。

#### 4 事務連絡

##### ①令和7年度 第8回益富地域会議

・日時：令和7年12月17日（水曜日）19時～

・場所：益富交流館 多目的ホール

##### ②令和7年度第5回 五ヶ丘まちづくりワークショップ（令和7年11月29日（土）開催）の案内

##### ③「五ヶ丘まちづくりニュースレター第7号」の紹介

##### ④豊田市ジェンダー平等推進センター情報誌「クローバー」の紹介

##### ⑤高橋・美里・益富地区ラリーフォトコンテスト（令和7年11月20日（木）応募締め切り）への応募案内

以上